

予算特別委員会委員長報告

ただいま議題となりました令和4年度神戸市各会計予算及び関連議案、合計52議案について、委員会審査の経過並びに結果についてご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、神戸はもとより世界中の状況は一変しました。感染拡大の波が繰り返される中、医療従事者の皆様には、長きにわたり最前線で治療や予防に当たってくださっていることに、改めて感謝いたします。

このような状況の中、引き続き、市民の命と健康を守り、そして神戸経済を回復させるため、新型コロナウイルス感染症の対策に全力で取り組んでいくことが必要であります。

また、本市は阪神・淡路大震災という大きな危機を乗り越えてきましたが、人口減少や少子超高齢社会、東京一極集中といった社会情勢の変化による新たな課題に直面しており、with コロナ時代、さらにはポスト・コロナ時代も見据え、確かな成長戦略やテクノロジーの進化を取り入れながら、スピード感をもって、持続可能な都市経営を行っていく必要があります。

こうした点から、令和4年度予算案は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組むとともに、神戸の豊かな自然環境を活かして、「まちの質」・「くらしの質」を重視した施策を強化し、SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて、確かな歩みを進めていくとの提案がなされました。

委員会は、去る2月25日に議案の付託を受けて以来、3つの分科会を設け、2月28日から3月9日まで局別審査、さらに14日には市長・副市長等に対する総括質疑を行いました。

それでは、委員会審査において議論となりました主な事項について、簡単にご報告申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症対策に関して、ワクチンの3回目接種、保健・医療提供体制の拡充、コロナ後遺症への相談対応、保育所における感染対策、中小事業者への支援などについて議論が行われました。

また、市政全般に関するものとして、王子公園の再整備、行財政改革方針2025、区役所業務の民間委託、都心・三宮の再整備、DX・スマートシティの推進などに

ついでに議論がありました。

次に、施策別では、「子育て・教育」に関して、保育人材の確保や処遇改善、子どもケアラー世帯への訪問支援、子育て応援賃貸住宅住み替え補助、虐待により一時保護された子供が意見を表明するための支援制度、中学校給食の全員喫食制への移行、時代に合った校則への見直しなどについて、

「健康・福祉・環境」に関しては、子宮頸がん予防ワクチンの接種、看護師確保、介護事業者への指導監査、バリアフリーの推進、脱炭素社会を目指したエネルギー政策、クリーンステーションの設置などについて、

「経済・産業・観光」に関しては、神戸空港の利用促進、国際コンテナ戦略港湾の推進、新産業の育成・集積、商店街・小売市場お買物券事業、クルーズ客船の誘致、休園中の須磨海釣り公園の今後などについて、

「安全・安心なまちづくり」に関しては、防災福祉コミュニティへの支援、土砂災害対策、外部給電・神戸モデル、交通安全対策、マンションの適正管理、空き地・空き家対策、地域課題解決のためのNPOへの補助などについて様々な議論がありました。

委員会では、このような審査の後、3月14日に松本のり子委員ほか7名から予算の編成替えを求める動議が提出され、16日には各会派からの意見表明及び意見決定をそれぞれ行いました。

その結果、コロナ禍における事業者支援のあり方、王子公園再整備の進め方、市役所業務の民間委託のあり方などを理由とする反対意見もありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復といった対策に最優先で取り組むとともに、市民の暮らしを守る施策や福祉・教育分野を含む人への投資など、これから神戸が進むべき指針を示し、SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた新たな施策が積極的に盛り込まれた予算となっていると判断できることから、委員会は動議を否決した上で、令和4年度神戸市各会計予算及び関連議案、合計52議案については、いずれも原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、委員会の要望事項について申し上げます。

まず、新型コロナウイルス対策についてであります。

先にも申し上げましたが、感染拡大の波が繰り返される中、市民の命と健康を守り、そして神戸経済を回復させるため、新型コロナウイルス感染症の対策に全力で取り組んでいくことが必要です。

よって、保健・医療提供体制を拡充し、市民の命と健康を守るための対策を徹底されたいのであります。また、子供の接種に対する不安の解消に努めることに加え、3回目ワクチン接種を円滑に進めるなど、引き続き、新型コロナウイルス対策に万全を期されたいのであります。

次に、王子公園の再整備についてであります。

市民の関心が極めて高い本件については、市民の想いや意見を汲み取り、周辺エリアの活性化、地域貢献に資するための柔軟な対応が必要です。

よって、大学誘致や各施設のあり方などについて、ワークショップの開催など、利用者や市民の意見を十分に踏まえて、市民の理解が得られるものに見直されたいのであります。

次に、スポーツ振興に資する環境整備についてであります。

コロナ禍から市民とまちが元気を取り戻し、心豊かな生活を送るため、トップアスリートのみならず、全ての市民がスポーツを楽しむことができるまちづくりを行い、全市的にスポーツを振興することが必要です。

よって、フィギュアスケートをはじめ、オリンピックなどの国際大会で活躍するアスリートの選手育成と練習の拠点を整備されたいのであります。また、都市公園におけるアーバンスポーツ施設の整備、老朽体育館の改修やインクルーシブ公園の計画的整備などにより、全ての市民のスポーツ振興に資する環境整備に努められたいのであります。

次に、子育て支援等の強化についてであります。

温もりのある地域社会を創るためには、妊娠・出産期から学齢期において切れ目のない支援を充実し、誰もが安心して子供を産み育てることが出来る街の実現が必要です。

よって、子供の居場所の確保とその充実、さらなる子育て世帯の負担軽減等、区役所と連携した情報配信を含む子育て支援策を強化されたいのであります。

次に、学びの保障についてであります。

コロナ禍においても、神戸の子供たちの健やかな成長を促し、次世代を担う子供たちが、未来を切り開くために必要な教育を安心して受けられる環境整備が必要です。

よって、学級閉鎖などにより子供たちの学習に遅れが生じないように、オンラインによる学習支援を実施するほか、可能な限り学校行事や課外活動を実施することにより、コロナ禍における、子供たちの心のケアと学びを保障されたいのであります。

次に、神戸空港の機能強化についてであります。

神戸空港が、関西の航空需要拡大と関西経済の活性化に貢献していくためには、関係者の合意に基づく取り組みを着実に進めていくことが必要です。

よって、関西3空港懇談会の協議を踏まえ、2025年を目途に、国際化を含む神戸空港の機能強化に全力で取り組み、今後の航空需要に対応できる体制を実現されたいのであります。

次に、市役所業務の委託についてであります。

市役所業務の委託については、業務の効率化や利便性の向上とともに、行政サービスの質を維持することが重要です。

よって、代表電話や区役所業務などの民間委託については、市民に寄り添う行政サービスに努められたいのであります。

以上、委員会審査の経過並びに結果及び要望事項についてご報告申し上げます。

終わりに当たり、委員会運営に終始ご協力をいただきました副委員長、理事の皆様、並びに連日熱心な審査を賜りました委員の皆様にご心から敬意と感謝の意を表しまして、報告を終わります。